（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	女鳥羽川再発見プロジェクト 松本らしい暮らし方を学び体験
事業主体 （連絡先）	松本都市デザイン学習会 （連絡先　メールアドレス　k.uocafe@gmail.com ）
事業区分	(7)オ　その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	557,997　円（うち支援金：　446,000 円）

事 業 内 容

中心市街地を流れる「女鳥羽川」に公共空間としての機能や可能性を広げるため、歴史、自然、交通、街との関わりなどを『女鳥羽川再発見プロジェクト』計８回の講座フォールドワークを開催後、その中間着地点として「地図」制作・WS・シンポジウムなど開催。

１．はじめての女鳥羽川マップ制作　5 部 3000 部完成
２．女鳥羽川再発見プロジェクト連続講座 9 回目とワークショップの開催　5 年 10 月 4 日　参加者 26 名
３．地域住民の方、松本市担当者の方々と女鳥羽川フィールドワークを開催 5 年 8 月 22 日　参加者 20 名
４．川をキーワードとした講演会・シンポジウムの開催　6 年 1 月 21 日　参加者 120 名程
５．完成したマップを基としたフィールドワーク　6 年 2 月 12 日参加者 10 名

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

支援金を活用して講座、シンポジウム、フィールドワークを開催し、今まで気がつかなかった女鳥羽川の魅力を共に学び、体験できた。制作したマップ配布先：シンポジウム参加者・川周辺学校（旭町小中、本郷小、女鳥羽中、岡田小、開智小、源池小、田川小、付属小中、山辺小中・等）公民館・松本市役所関係部署・松本市立図書館・長野県立図書館・松本市立博物館その他多数
取材してもらったメディア　市民タイムス２回　信濃毎日新聞社３回　松本経済新聞１回
集客告知方法　FB、Instagram、チラシ（シンポジウム）

【目標・ねらい】

① マップを通して女鳥羽川の魅力を発信
②意見交換会・講座・ワークショップ・フィールドワークシンポジウム開催でより知識を学び女鳥羽川に対して理解を深めた。

※自己評価【　A　】

【理由】3 年かけておこなう予定の事業を 1 年間で終了したほど濃密な 1 年間。女鳥羽川マップ 5 部の完成度の高さに大きな反響があり。シンポジウム参加者 120 名アンケート結果（78/120）約 6 割の人が女鳥羽川に対して認識が変わったと回答

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

制作した「はじめての女鳥羽川マップ」を活用した取り組みを継続していきたいと思います。また女鳥羽川で活動している団体へのマップ寄贈を継続してツアーや水辺の生物学習などに使用してもらい活動を応援していきたいです。(3 月 2 日松本市主催「外来種駆除講座」資料提供)
女鳥羽川や中心市街地に関する講座やワークショップを市民の皆さんと共に開催していきます。
奈良井川改良事務所から依頼があり、令和 6 年 3 月 1 日より 2 週間ほど松本合同庁舎 1 階ロビー壁面にて女鳥羽川マップの展示と女鳥羽川再発見プロジェクトの概要などパネル展示をおこないます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある